別紙2

事業所名: グループホーム いにしえ

作成日: 平成 26年 4月 19日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	1F2Fともに歩行困難の利用者様がおり、夜勤帯1人での避難誘導に不安がある。災害時には近隣の方が駆けつけてくれることになっているが内部の状況を把握していない。	災害時、駆けつけてくれた近隣の方や消防署員が迅速に避難誘導できる。	①1F2Fの建物の平面図に居室番号を記入し、どこに歩行困難者がいるのか明記する。 ②歩行困難者の居室入り口に平面図と同じ居室番号を貼っておく。 ③1Fは玄関ホールに2Fは階段ホールに平面図を下げておく。	1ヶ月
2	10 (6) 11 (7)	日常会話や家族の面会時に話を伺ったりしているが、意見や要望などは思っていても言葉に出せないでいる方もいるのではないか。	多くの意見や要望を頂き、サービスの質の向上に繋げていく。	①意見箱を玄関横に設置する。 ②家族には6月のお便りで周知し、用紙も同封する。スタッフには申し送り簿で周知し用紙を挟んでおく。 ③意見箱のネーミングは「みんなの広場」とし、意見・要望に限らず、出来事、思いなど何でも書いて頂く	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。